

会 議 録

名 称	第3回平塚市地域福祉計画策定委員会 第3回平塚市地域福祉活動計画策定委員会
日 時	令和6年1月31日（水） 10時00分 ～ 11時50分
場 所	平塚市役所 4階 410会議室
出席者	船水委員長、佐草副委員長、中山委員、加藤委員、山岸委員、鈴木委員、堤委員、中島委員、福岡委員、相原委員、新井委員、稲垣委員、深堀委員、長橋委員、西山委員、笠原委員、小林委員、中野委員 （欠席：大橋委員、須藤委員） 事務局 （平塚市）岸福祉部長・柳川福祉総務課長・西山課長代理・杉崎課長代理・島村主査・毛木主査・小嶋青少年課長・佐草課長代理 （市社協）遠藤事務局次長兼地域福祉推進課長・内田班長
傍聴者	なし

【開会あいさつ（福祉部長）】

- 昨年7月の第1回策定委員会、9月の第2回策定委員会にて委員の皆様からご意見をいただきながら、より良い計画となるよう第2期地域福祉リーディングプランの策定を進めてきた。加えて、昨年11月から1か月にわたりパブリックコメントを実施し、市民の皆様から広くご意見をいただいた。
- 本日の策定委員会では、パブリックコメントで寄せられたご意見の概要と本市の考え方をお示しするとともに、それらを踏まえて作成した、第2期平塚市地域福祉リーディングプランの策定案をご提示し、ご承認いただきたくたいと考えている。
- この策定委員会での検討は本日が最終となるが、計画の策定はゴールではなく、今後5年間の本市の新たな福祉施策のスタートとなる。本日の委員会では、計画策定のさらにその先に向けてのご意見、ご提案についても併せてお願い申し上げるとともに、今年度これまでの活発な御議論に改めて感謝申し上げます。

※以降、船水委員長が議事進行

（委員長）昨年9月に開催した本委員会での意見を反映させ、11月から計画（素案）に対して意見を募集した。その後、その意見の内容を事務局で調整したものを計画（案）として本日お示しし、皆様から意見を頂きたいと思っております。

【議事】

(1) パブリックコメント手続の実施結果について

事務局から資料1に基づいて、パブリックコメント手続の募集概要、実施結果、意見対応（案）について説明。

(質疑・意見等)

(委員) ライドシェアに関する意見について、先日の能登半島地震でも感じたが、災害時の交通麻痺を防ぐためにも具体的な取組を記載できないでしょうか。

(事務局) ライドシェアについては、国でも議論しているところで、まずは都市部や観光地などでタクシー不足解消を図るとされています。具体的な取組については、現時点での本計画への記載は難しいと考えますが、国の動向を注視しながら、広い視野をもって地域と検討していく必要があると考えています。

(委員長) 他にないようですので、議事(1)は以上とします。

(2) 第2期平塚市地域福祉リーディングプラン（案）について

事務局から資料2-1及び資料2-2に基づいて、前回からの修正箇所を中心に計画案を説明

(質疑・意見等)

(委員) 123ページに今回追加した成果指標の『重層的支援体制整備事業における相談支援に参画した団体等の数』の数値の単位が「者」となっていますが、これがあまり聞きなれない表現と感じます。

(事務局) 本事業は、様々な主体が参画することで、支援が重なっていきます。したがって、団体や企業、個人の方に参画いただくこともあることから、幅広い視点で「者」としました。

一方で、これは法令用語であり、一般には聞きなれない言葉であることから再検討いたします。

(委員) 110ページのインクルーシブ遊具のコラムについて、「座位の保持ができない子ども」といった表現や「視覚障がい者も遊べる」といった表現が気になりました。できないという表現ではなく、例えば、「座位の保持をサポートする」などの表現に修正してはどうでしょうか。また、広場全体の写真はありますが、遊具の写真がないので、遊具の機能が分かる写真を入れてはどうでしょうか。

(委員) 124ページの『子育て世代包括支援センターの機能拡充』の事業説明において、「妊娠期から子育て期までをトータルに支援する」といった表現が気になりました。「切れ目なく」などの表現に修正してはどうでしょうか。

また、131ページの子ども食堂のコラムの下から6行目の「また、」は不要なので削除した方が良いと思います。

それから、先ほどの110ページのインクルーシブ遊具のコラムに戻りますが、「遊具周りをゴムチップ舗装とし、安全に配慮する」ことが障がいがある子どもに対応しているという文章につながっていない気がします。すべての子どもが発達段階に応じて遊ぶことができることが分かるような説明が良いと思います。

(事務局) 『インクルーシブ遊具』や『子育て世代包括支援センターの機能拡充』の説明については検討して対応したいと思います。子ども食堂のコラムの「また、」は削除いたします。

(委員) 計画の概要版がとても分かりやすいと思います。この概要版をまずは市民の方に手に取っていただけると良いと思います。

(事務局) 完成した計画の配架と併せて、概要版も市ウェブページや各施設に配架します。

(委員) 計画の概要版について、本日は赤を中心とした色味で用意していただいたが、カラーバリアフリーの観点から見づらい部分がある。どのように印刷して市民の方に手に取ってもらう予定でしょうか。

(事務局) 現時点では、白黒での印刷を考えています。

(委員) 36ページの『ひらつか障がい者福祉ショップありがとう・夢のタネ』のコラム内にありがとうのロゴマークと写真を追加してはどうでしょうか。全般として、写真があるとコラムが生きてくると思います。

(事務局) ありがとうのロゴマークは追加したいと思います。また、コラムの写真については、紙面のスペースの都合や掲載の適した写真の有無を含めて可能な限り掲載しています。

(委員) 今後は、こども家庭庁が設置されるなどの動きも踏まえて、子どもの意見を積極的に聞いていくべきと思います。

計画の中間見直しや子育て支援計画の策定にあたっては、ぜひ子どもたちの意見を取り入れていただきたい。

(事務局) 子どもたちの意見を聞いていくことの重要性は認識しており、今後必要なことも承知していますので、今後具体的に検討したいと思います。

(委員) 子ども・子育て支援ネットワークのアンケートプロジェクトで具体的な方法を検討しているので、今後共有したいと思います。

(委員) 131ページの『子ども食堂』のコラムについて、子ども食堂を行っている団体が学習支援も実施しているように読めてしまう気がします。それぞれが独自の理念をもって活動していることから、表現を若干修正した方が良いと思います。

(事務局) 確認して対応したいと思います。

(委員長) 57ページから59ページにかけて被保護者世帯や被保護世帯などが混在しているので、統一した方が良いと思います。

(事務局) 生活保護関連の文言は、確認して整理いたします。

(委員) 69ページに町内福祉村の支援活動の仕組みの図があるが、このように市全体の支援体制を図式化すると良いと思います。

(事務局) このページでは、あくまで町内福祉村の仕組みについて記載しています。全体の支援の図については、どうしても支える側と支えられる側といった構図が見えてしまうため、掲載しないこととしました。

(委員) 40ページのコラム『ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク』の、「子育て中のママさん」という表現について、ママだけではないので修正していただきたいです。また、私もアンケートプロジェクトに関わっていますが、要望を集めて

いるだけではないので、説明を修正して欲しいと思います。
(事務局) ご意見を踏まえて、修正したいと思います。

(委員長) 様々なご意見をありがとうございました。
それでは、皆さまへお諮りいたします。「第2期平塚市地域福祉リーディングプラン」の案につきまして、これまでの策定委員会やパブリックコメントによる意見などを踏まえた施策推進を図ることを意見として添えて、委員会としてこれを承認するというところでよろしいでしょうか。
よろしければ、拍手を持ってご承認いただきたいと思います。

[拍手多数]

ありがとうございました。それでは、策定委員会として「第2期平塚市地域福祉リーディングプラン」の案を承認することといたします。
では、次の議題に移ります。

(3) 今後のスケジュール及び展開について

事務局から資料3に基づいて、説明。
加えて、本計画の配架先に青少年会館や保健センターを加えたいと考えていることと、本計画の「子ども版」の作成を検討していることを説明。

(委員長) このことについて、何かご意見、ご質問、具体的なご提案などありますでしょうか。

(委員) 子どもの家にもぜひ本計画を置いて欲しいと思います。

(事務局) 配架したいと思います。

(委員) 計画策定後のPRをしっかりとっていくという観点から、情報発信のためのボランティア団体を組織して、チラシの作成やSNSでの発信などを担ってもらうことを考えても良いのではないのでしょうか。

(委員) 地域福祉の担い手は地域住民であるが、最近は定年延長などで、地域活動が始める年齢が上がっていると思います。定年退職する方々へのPRや働きかけも今後は重要ではないのでしょうか。

(事務局) 本市の地域福祉活動の中核を担う町内福祉村においてもボランティア不足が深刻化しています。過去に、退職する市職員向けに案内したことはありましたが、民生委員児童委員も欠員があることから、今後そうした具体的な取組も検討したいと思います。

(委員) 概要版であれば、多くの人に手に取ってもらえると思いますので、例えば概要版に広告を入れて、その広告収入により上質紙でフルカラー印刷する等ができれば、より本計画を周知できると思います。

(事務局) 概要版の使い方については、ご意見を踏まえて検討いたします。

(委員) 概要版の中で、「第2期計画の策定にあたって」とありますが、どの計画を指すのか分かりにくさがあると思います。

(事務局) これは上段で、「以下、第2期計画という」としているため、この表記と
しています。

(委員長) 以上で議事は終了となりますが、本日は最終の策定委員会ですので、委員
の皆さまから全体を通じての感想などありましたら、ぜひ一言いただければと思い
ます。

[委員から感想多数あり]

(委員長) それでは、これにて事務局へお返ししますが、委員の皆様には様々な視点
からご意見をいただき、大変ありがとうございました。策定委員会全体を通して、
皆さまには多大なお力添えをいただき、円滑に議事進行できましたことに重ねて感
謝いたします。

(事務局) 船水委員長、委員の皆様、ありがとうございました。
本委員会の委員の任期につきましては、委嘱又は任命の日から審議の終了の日まで
となっておりますことから、本日をもって皆様の任期は満了となります。これまで
計画策定に多大なるお力添えをいただき、改めてお礼を申し上げます。
それでは、以上をもちまして、第3回平塚市地域福祉計画、地域福祉活動計画の策
定委員会を終了いたします。誠にありがとうございました。

以 上